

滝川高校SSH通信

発行：2019年4月10日 SSH・理数科 第1号

北海道滝川高等学校（SSH第2期）

平成31年度（令和元年度）スーパーサイエンスハイスクール指定校に内定！！

持続可能な社会を築く資質と能力を備えた科学技術系人材を育成する 「協働・共創カリキュラム」の研究開発

滝川高校は今年度スーパーサイエンスハイスクール（以下SSH）指定校に採択されました（平成31年度基礎枠（指定期間5年）応募58校のうち32校内定）。

今回採択された滝川高校SSH第2期の内容は、持続可能な社会を築く資質と能力を備えた科学技術系人材を育成する「協働・共創カリキュラム」の研究開発を目指すものです。

本校は今年90周年の節目の年を迎えます。新しい年号『令和』のスタートと共に滝川高校SSH第Ⅱステージ（第2期）として大きく1歩を踏み出します。地域・学校（生徒及び全教職員）が互いに「協働」し、素晴らしい学びの場としての滝川高校を「共創」していきましょう！！

☆滝川高校SSH（第2期）では次の8つの力を育成します！

- 考え抜く力**～①言語を活用する力②知識・情報を活用する力
③課題を見出す力④課題を解決する力
- 協働する力**～⑤議論する力、⑥他者と協働する力
- 生き抜く力**～⑦自ら振り返り自己を変容させる力、⑧挑戦する力

☆8つの力を育てる滝川高校SSH第2期の概要

研究開発の目的

持続可能な社会を築く資質と能力を備えた科学技術系人材を育成する

研究開発課題名

「協働・共創カリキュラム」の研究開発

研究開発の目標

目指す人材に必要な力の育成を図るため、本校ならびに本地域が有する教育資源を有機的に関連付けながら、各々の価値を最大限かつ有効に活用し、生徒の資質・能力の向上につなげる「協働・共創カリキュラム」の研究開発を行うこと

主な取組

- (1) 全員が課題研究に取り組みます。
課題研究を通して論理的思考力、批判的思考力、課題発見力や論理的思考力、表現力、発信力を身につけます。
- (2) 教科横断的な授業に取り組みます。
様々な教科科目を横断的に組み合わせることで、多角的な視点や物事を関連付けて見る力を養います。
- (3) 地域と連携して実践的な活動に取り組みます。
地域との連携の中で実際に子どもたちの学びをサポートしたり、企業と共同して研究開発に取り組むことで、社会で生きる実践力と挑戦する心を養います。

持続可能な社会を築く科学技術系人材を育成する「協働・共創カリキュラム」の研究開発



特色ある滝川高校SSHこれまでの実践

体系化された課題研究の実践



課題研究の基礎科目フロンティアサイエンス | 問題解決の授業



理数科で本格的に課題研究に取り組むフロンティアサイエンス | 理科 数学 保健 家庭科 幅広いテーマで取り組む課題研究

英語科が中心に取り組む科学英語の充実



ALTと少人数でのグループワーク 地域環境を英語でプレゼン

企業・大学と連携した科学技術実習プログラム



校外開発に取り組む地元企業 福松農機の協力で田サットに挑戦
大学研究室訪問研修 北海道大学触媒化学研究所にて

豊かな自然環境を活かしたフィールドワークの充実



ラムサール湿地宮崎沼遊泳～マガン観察、トノサマガエル抽履調査



5ヶ水田んぼでのメタン調査、富栄養化水域での水質調査 等



空知川生物調査 神居古潭石炭西露頭観察 美瑛火砕流堆積物観察

異校種・教育機関・行政機関との連携プログラム



小中学生対象に管内高校や科学館等と協力して実施した対1対1

道外科学研修、フィールド研修・海外研修の充実



マガン越冬地伊豆沼 気仙沼高校交流 森は海の恋人海洋実習



サイエンスツアー～JAXA 物質材料研究機構 戸山高校交流



ポルネオ研修 高橋樹林樹園の観察 5ヶ水、テングザルの観察

